

授 業 名	失語症Ⅲ	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2 年(前期)
担 当 教 員 名	春 芳 準 朗	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 臨床現場における、言語治療の進め方を把握し、言語訓練の訓練技法を習得する。 失語症者に適切かつ正しい言語治療を提供するために、心理的側面にも充分注意を払う。</p> <p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WAB がマニュアルを確認しながら実施できる。 ・コースとレーブンを実施し、まとめることができる。 ・SLTA が正しい手順で実施できる。 ・認知神経心理学モデルについて説明できる。 		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	失語症の評価について		
第 2 回	WAB、コース立方体検査、レーブン色彩マトリックス検査		
第 3 回	演習		
第 4 回	演習		
第 5 回	演習		
第 6 回	SLTA 実施についての全般的注意事項		
第 7 回	演習		
第 8 回	認知神経心理学的モデルについて①		
第 9 回	認知神経心理学的モデルについて②		
第 10 回	認知神経心理学的モデルについて③		
第 11 回	SLTA 結果報告書作成演習(症例I)①		
第 12 回	SLTA 結果報告書作成演習(症例I)②		
第 13 回	SLTA 結果報告書作成演習(症例I)③		
第 14 回	SLTA 結果報告書作成演習(症例I)④		
第 15 回	まとめ		
評 価 方 法	定期試験 7 割、提出物 3 割で評価します。		
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕 藤田郁代・立石雅子編著「失語症学 第3版」(医学書店) 小嶋知幸編著「なるほど失語症の評価と治療」(金原出版株式会社)</p> <p>〔参考図書〕 竹内愛子編集「失語症臨床ガイド」(共同医書出版社)</p>		
履 修 上 の 留 意 点	実習にむけて重要な所ですので、しっかり取り組んでください。		
メ ッ セ ー ジ	分からないところはどんどん質問してください。		